

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
<p>1 実践1 【ハートフルタイム（人権集会）】</p>	<p>やまべっこ委員会を中心に、山部小学校いじめ防止基本方針を再度確認し、「いじめは絶対にダメ」という考えをもとに、ハートフルタイムを実施した。1～3年生は「タマミーの落書き」4～6年生は「いじめに気付けるクラスになろう」の動画を視聴し、相手の気持ちを考えずに発言し続けることの危うさや、自分が意図していなくても一人を集団で追い詰めてしまうことがあるということについて、気がつけるようにした。そこから学級毎にいじめ防止について話し合い、標語を募集し掲示した。他学級の標語に対して「自分もそう思う」「みんなが笑顔でいられたら幸せ」等のメッセージを募り、学校全体でいじめ防止への思いを共有した。</p> <p>成果 ハートフルタイム後の話し合いでは「友達が苦手だと思っていることをしつこく下手とか変って言わないようにしたい」「自分のダメな部分を自分以外の所で噂されるのはいい気持ちはしないから、直接言ってほしい」等の意見が出され、児童自身が生活を見直すきっかけとなった。また「もし自分がいじめられた側だったらすぐ周りの人に相談したい」と、両方の視点からもしものときにどう行動したらよいか考えることができた。</p> <p>課題 相手が嫌だと思えることがどんなことなのか、少人数の中で考えることが難しくトラブルになる児童もいる。具体的な例を挙げながら、「みんなが仲良くしたい」という児童の思いを大切に、よりよい人間関係が築けるよう支援していく。</p>
<p>2 実践2 【人権意識を高める研修】</p>	<p>人権教育指導資料集（第40集、第45集）をもとに、職員の人権意識を高める研修を実施した。参加型ゲームで、幼少期からの刷り込みによって人権意識は染みついているという体験をしてから、自分の人権感覚と向き合うことで、個人の課題を再確認した。チェック表を活用し、「人として」「教職員として」の二つの立場から振り返り意見交換を行った。さらに、法務省が出している同和問題、インターネットの誹謗中傷についての動画や「ホーム」のDVDから、現代の人権課題について学校全体で共通理解できるようにした。</p> <p>成果 チェックリストの活用によって「無意識な言動に人権意識が隠れていて驚いた」「思い込みや先入観で人を傷つけることがあると思うので、反省した」等の意見を交わすことで、相手意識＝人権意識を高めることという共通認識ができた。動画の視聴から、大人がSNSとの関わり方をもっと理解した上で、子どもたちに使い方を教えたり見守ったりできるとよいという共通理解ができた。</p> <p>課題 自分たちがそうであるように、子どもたちが人権意識を高める時期に環境を整えながら人間関係を形成する中でいじめや差別につながるよう接していくことが必要である。また、同和問題についてもまだまだ根強い課題であり、今後も子どもたちとともに向き合っていく必要がある。</p>